学校番号	3037

令和８年度　理数科

教科	理数	科目	理数数学Ⅱ （文理学科文科）	単位数	6 単位 （内 3 単位）	年次	2 年次
使用教科書	数学 B、数学 C　（数研出版）						
副教材等	4STEP　数学Ⅱ＋B＋C、数学Ⅲ＋C　（数研出版） チャート式　基礎からの数学Ⅱ＋B＋C、数学Ⅲ＋C　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、まず講義で基本的な内容や解法を理解してもらいます。その後、課題解決のため、結果を予想し、よりよい解決方法を自分で考え、解決していくようにしてください。そのため、授業で問題演習も随時取り入れ、自分で考え、周りの人と協働で考える活動も行います。
・問題集用のノートを用意し、問題集の問題を自分で解いてください。また、各自答えあわせをして、自分がどこまで理解できており、どこでつまずいているのかを知ってください。
・家庭学習における課題を定期的に提出してもらいます。計画的な学習習慣を身につけましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
数学における基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深めるとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能に習熟するようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
事象を数学的に捉え，論理的・統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識し，数学を積極的に活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，事象を数学的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学的活動を通して、数列・統計的な推測・複素数平面・式と曲線における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。また、事象を数学的に考察し、表現・処理する仕方や推論の技能を身につけ、的確に問題を解決できる。	数学的活動を通して、数列・統計的な推測・複素数平面・式と曲線における数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的に捉え、論理的に考察するとともに、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考察し、表現できる。	数学的活動を通して、数列・統計的な推測・複素数平面・式と曲線における考え方に関心を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを進んで活用しようとする。また、自分自身の学習についての振り返りを行い、評価・改善をしようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	数学B 第1章 数列	第1節　数列とその和 1　数列 2　等差数列とその和 3　等比数列とその和 4　和の記号Σ 5　階差数列 6　いろいろな数列の和 第2節　数学的帰納法 7　漸化式と数列 8　数学的帰納法	a:数列に関する基本的な概念を理解し、知識を身につけているとともに、数列を用いて事象を表現・処理する技能を身につけている。 b:数列の考え方を用いて、事象の考察や表現をし、その過程を振り返ったりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。 c:数列の考え方に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題	提出課題 提出ノート 観察
二学期	数学B 第2章 統計的な推測	第1節　確率分布 1　確率変数と確率分布 2　確率変数の期待値と分散 3　確率変数の変換 4　確率変数の和と期待値 5　独立な確率変数と期待値・分散 6　二項分布 7　正規分布 第2節　統計的な推測 8　母集団と標本 9　標本平均とその分布 10　推定 11　仮説検定	a:統計的な推測に関する基本的な概念を理解し、知識を身につけているとともに、統計的な推測を用いて事象を表現・処理する技能を身につけている。 b:統計的な推測を用いて、事象の考察や表現をし、その過程を振り返ったりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。 c:統計的な推測に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題	提出課題 提出ノート 観察
	数学C 第3章 複素数平面	1　複素数平面 2　複素数の極形式と乗法、除法 3　ド・モアブルの定理 4　複素数と図形	a:複素数平面に関する基本的な概念を理解し、知識を身につけているとともに、空間のベクトルを用いて事象を表現・処理する技能を身につけている。 b:複素数平面を用いて、事象の考察や表現をし、その過程を振り返ったりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。 c:複素数平面に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題	提出課題 提出ノート 観察

三学期	数学Ｃ　第４章　式と曲線	第１節　式と曲線 １　放物線 ２　楕円 ３　双曲線 ４　２次曲線の平行移動 ５　２次曲線と直線 ６　２次曲線の性質 第２節　媒介変数表示と極座標 ７　曲線の媒介変数表示 ８　極座標と極方程式 ９　コンピュータといろいろな曲線	a:式と曲線に関する基本的な概念を理解し、知識を身につけているとともに、式と曲線を用いて事象を表現・処理する技能を身につけている。 b:式と曲線を用いて、事象の考察や表現をし、その過程を振り返ったりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。 c:式と曲線に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題	提出課題 提出ノート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度